

# 1 家庭学習の進め方

## (1) やる気を高めよう

まず、「できること」「得意なこと」から始めましょう。

自分ができることや得意なことから自主的に学習を始めると、学習を進めていく間に色々な力が付いてきます。

主体的に学ぶことで学習を深く捉えることができます。

新しいことができるようになり、自信を持つことができます。

分かること、できることが増えてくると次への学習意欲が、さらに高まり、友達と一緒に学び合い、かかわり合いながら学習を深めることができます。

学習を通して、知識や技能だけでなく、人として大切な生き抜く心と力を培ってください。そのためにも、必ず続けられることを自分で決めて毎日実行するとよいでしょう。続けていくうちに、分かった時の楽しさや喜びが味わえ、喜びはやる気へとつながっていきます。やる気が高まれば、より深い内容を学習することができるでしょう。

## (2) 家庭学習の習慣を身に付けよう

家庭学習の習慣を身に付けるために、毎日宿題を出します。宿題の内容は、音読練習（読むこと）、漢字練習（書くこと）、計算練習（計算すること）を三つの柱とし、日記（文章表現）にも取り組みます。

毎日の宿題に取り組むことで、学習する習慣を身に付けるとともに、読むこと、書くこと、計算することの基礎学力をしっかりと身に付けることをねらいとしています。特に、6年生は中学校に向けての準備となります。

### ～家庭学習の進め方～

学校から帰ったらすぐに取り組む、夕食を食べる前に取り組むなど、毎日決まった時に取り組むようにすると良い習慣が身に付きます。

取り組む時間は、学年や学習内容によって異なる場合もありますが、10分間×学年が標準的な時間といえます。（例：6年生は、10分間×6学年＝60分間）

取り組んだあとには、すぐに答え合わせをして、丸付けをします。すぐに間違えたところに気付き、やり直しをすることで、学習内容が正しく定着し、理解を深めることができます。

### ※ [保護者の方へ]

中学年・高学年は、答えを見ながら自分で丸付けをします。

低学年は、できる限り保護者の方が丸付けをして、励ましてあげてください。

## <音 読>

文章を声に出して読むことは大切な学習です。多くの文章に触れることで、自然に文字や言葉を覚えることができます。文章を目で追いながら、自分の出した声を自分の耳で聞くことで、読み流しや読み飛ばしがなくなり、文章をしっかりと読み上げることができ、文章読解力が高まるのです。

### 音読のめあて

低学年	大きな声で読む。しっかり口をあけて、はっきりと読む。すらすら読む。気持ちを込めて読む。「、」や「。」に気を付けて読む。ゆっくり読む。
中学年	言葉のまとまりで読む。言葉や文の意味を考えながら読む。漢字を正しく読む。気持ちや場面の情景を考えて読む。暗記する。
高学年	分かりやすい速さや間の取り方を考えて読む。気持ちや場面の情景を考えて抑揚をつけて読む。

[保護者の方へ] 音読をする時は、保護者の方が音読を聞き、音読カードにサインをお願いします。

## <漢字練習>

丁寧な字で書き順に気を付けて書きましょう。鉛筆でとめ・はね・はらい・おれに気を付けて力強く大きな字で書きます。

音読み、訓読み、画数、部首などもノートに書きます。熟語や短文作りも工夫して行いましょう。

日付、曜日、漢字ドリルの番号などを書きます。

漢字ドリルの問題番号を書きます。縦書きで短文を練習します。

熟語とその意味を辞書で調べて書きます。

マスがあまらないうちに無駄なく練習していきます。

[保護者の方へ] ・間違いがないか見てあげてください。

・きれいに書けたことをたくさん認め、次へのやる気につなげてください。

## <計算練習>

何度も繰り返し、基礎基本の定着を図っていきます。  
間違えたときには、なぜ間違えたのかを確かめて、赤で直します。

日付、曜日、  
計算ドリルの  
番号など  
を書きます。

5-29 火

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-	=	
ドリル⑭													
①	5	8	②	3	7	③	9	4					
-	3	1	-	1	7	-	2	0					
27			20			74							
④	6	5	⑤	8	0	⑥	5	0					
-	6	1	-	3	0	-	4						
4			50			52							
⑦	8	7	⑧	2	9	⑨	9	3					
-	5		-	6		-	3						
82			23			90							
⑩	4	7	3	10	6	10							
-	7		⑪	4	2	⑫	7	5					
40			-	1	8	-	2	9					
			24			46							

①、②、③など、問題の  
番号をしっかりと書き  
ましょう。  
筆算と筆算の間は、1  
行以上マスをあけて書  
きましょう。

たし算、ひき算、  
かけ算、わり算の  
筆算は、必ず定規  
を使って線を引き  
ます。

[保護者の方へ]・間違いがないか見てあげてください。

- ・間違いがあった時は、もう一度やり直してできるようにしてあげてください。
- ・できたこと、最後までがんばったことをたくさん認め、次のやる気につなげてください。

## <日記>

週に1度（原則として週末）、日記を書きます。放課後や週末のできごとや今、考えていること、感じていること、行事を終えてのふりかえり等、学年によって、テーマを決めて書きます。

書く習慣を付けることで、自分の考えや思いを分かり易く、相手に伝わるように書く力を育みます。

## <読書>

[保護者の方へ]

本校では、司書教諭と連携し、図書室にホニホニ推薦図書30冊を置いています。（複本も準備します）また、西東京市立図書館より、推薦図書を学級文庫として1年間借りて、読書活動を奨励しています。年間100冊以上読んだら表彰状を渡します。